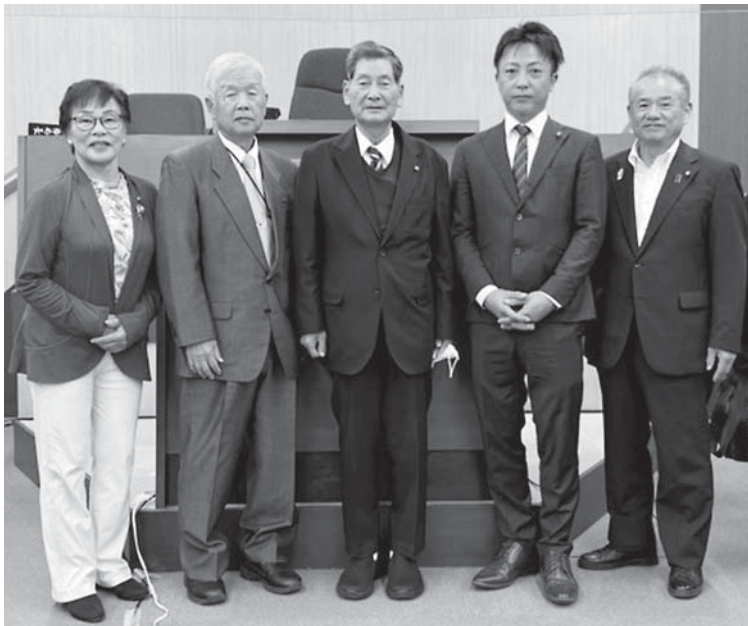


市議会議員の活動レポート

総務政策常任委員会 行政視察

令和7年10月7日に大阪府四條畷市を訪れ、働き方改革について、取り組み内容とその成果などの説明を受けました。この視察では一般的な働き方改革とは違い、改革の手法や考え方など、新たな気付きが多くありました。まずは現状の仕事に追われることからの脱却、今後の課題に前を向く体制づくりは香取市の発展には欠かせないと感じました。

8日には泉佐野市を訪れ、ふるさと納税で全国で1位になるまでの経緯と、クラウドファンディング型のふるさと納税の説明を受けました。泉佐野市は、ふるさと納税に有利とはいえない条件下で成果を上げていて、特に「#ふるさと納税3.0」は自治体、事業者、納税者の三者にメリットのある取り組みであり、市の活性化に貢献できると考えられます。事業者のクラウドファンディング提案が難しいという課題もありますが、自治体がサポートし公民連携することで香取市でも更なる成果があげられると感じました。



生活経済建設常任委員会 行政視察

令和7年10月9日に茨城県石岡市と鉾田市の行政視察を行いました。

石岡市では、新規就農者研修農場「朝日里山ファーム」の取り組みについて説明を受けました。ファームとJAやさと有機部会とのパイプが構築されており、新規就農を目指す人に環境整備や知識も含めてサポートしている点が、実績に繋がっていると感じました。農業の担い手の確保を通じて、移住促進にもつながる可能性がある取り組みであるため、人口減少対策として移住支援策と合わせた展開をすることも一案と感じられました。

鉾田市では、地域特産品を活かした地域活性化イベントについて、その概要や効果などの説明を受けました。イベント自体のマンネリ化を解消するため、その時々流行と地域資源を融合した企画ができるかが課題と改めて認識しました。



また、事業者が開発した商品（逸品）のブランド化をどう図っていくかが、事業者の売上向上、ひいては市内商工業の活性化につながると感じました。



ココがききたいQ&A

河野節子 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。



先進地のアイデアを活用してふるさと納税増額を

Q ふるさと納税過去5年間の納税額の推移と人気のある返礼品は。

A 100万円単位で、令和2年度2億1200万円、令和3年度3億7500万円、令和4年度5億6000万円、令和5年度7億5800万円、令和6年度9億9000万円となっています。人気の返礼品はサツマイモや干し芋、ペットボトルのお茶飲料、鳥肉等の加工品となっています。

ます。

Q 新規に加わったフルーツや体験型の返礼品の内容と寄附金額は。

A フルーツの返礼品は、梨、ブルーベリー、ぶどう、メロンがあり、令和7年度上半期の合計は、235件で約330万円です。体験型返礼品では、市内の施設の宿泊券や飲食券、ゴルフのプレー券、現地決済型の返礼品などがあり、令和6年度の実績は、宿泊券や食事券が995件で約7800万円、ゴルフのプレー券が104件で326万円、現地決済型返礼品が245件で約1100万円となっています。

Q 中間事業者との契約内容及び、ポータルサイトの契約で返礼品の検索を上位にあげる工夫はどのようにしているか。

A 検索キーワードに連動して返礼品を検索結果の上位に表示させるSEO対策がありますが、ふるさと納税の経費に上限があるため、タイミングを見計り行っています。

Q 寄付金の活用実績は。

A 最も多いものが市長に任せで、約4億5600万円、続いて子育て支援の関連が約1億円、中小企業や商店街の活性化の関連が約5800万円、農林畜産業の関連が約3100万円となっています。

意見 泉佐野市が発案した「#ふるさと納税3.0」という制度は、返礼品を生み出す企業

を誘致するために、クラウドファンディングと組み合わせる市が100%の補助金による事業支援、市内の事業者が新たな返礼品開発のために設備投資をする場合も同様に補助金で支援して、納税者が補助金の資源となる資金を提供しながら返礼品を受け取り、同時に地域を支援していくという三方良しの画期的な方法。ぜひ、香取市でも研究して将来の税収減に備えて欲しい。

成田国際空港の機能強化に伴う地域づくりはいかに

Q エアポートシティ構想が四者協議会で合意され、香取市も「成田新産業特別促進区域」に位置付けられている。このチャンスを活かした地域づくり計画の進捗状況は。

A 千葉県と成田空港周辺9市町では、成田新産業特別促進区域基本計画を策定し、国から同意を得ました。また、農林水産省から、成田空港と一体的利用が必要な物流施設等を整備する場合の、農振除外や農地転用の弾力的活用に関する取扱い通知が発出され、重点促進区域を設定することで、事業用地としての予見性が高まります。さらに、成田新産業特別促進区域基本計画が変更され、推進したい分野に精密機器、航空宇宙、健康医療、農業、観光が追加されました。特に農業、観光は、香取市での活用が期待できるため重点促進区域設定に向けて取り組みを進めています。